

は し が き

第 26 回参議院議員選挙は、平成 28 年選出議員の任期が令和 4 年 7 月 25 日に満了となることに伴い、6 月 22 日に公示され、7 月 10 日に執行されました。

公示日は、沖縄「慰霊の日」と重なるため 1 日前倒しされた関係で、選挙期日が同じ 7 月 10 日であった 6 年前の前々回の参議院議員選挙と同様に、選挙期日の 18 日前となりました。国会会期終了後の閣議決定が通例とはいえ、6 月 15 日の閣議決定まで投票日を明示できない中での準備が続く状況でした。

2 年間中止を余儀なくされていた明るい選挙推進協議会による街頭啓発活動も、今年は地区ごとに工夫をしながら実施できたほか、都営地下鉄 11 駅の自動改札機に啓発用ステッカーを掲出し投票を呼びかけました。

また、去年の都議選の期日前投票所に導入した混雑状況可視化システムは、当日投票所の混雑緩和と期日前投票の推奨が目的ですが、道案内の機能もあり、投票環境の向上にも寄与するものです。今回 62 か所の当日投票所にも拡大しましたが、合計で 14,000 件を超える閲覧がありました。結果を分析し、さらなる周知やサービス向上に結び付けていきたいと考えています。

期日前投票は、日数が 1 日多いとはいえ選挙区で前回(令和元年)より 19.76%増え、投票総数の 34.75%を占める結果となりました。全体の投票率は選挙区で 55.27%と前回より 4.77 ポイント増加しましたが、若年層の投票率は 10 歳代で 47.94%、20 歳代で 39.82%と前を上回ったものの依然として低迷しています。

若者への啓発活動の一環で、初の試みとして当日投票所の投票立会人の募集を広報等で行ったほか、区内高校へも働きかけ、10 名の方に従事してもらいました。選挙管理委員会の啓発活動に止まらず、主権者意識の涵養は喫緊の課題であり、特に学校と連携した取組をいかに進めていくのか一層の工夫が必要です。

選挙戦終盤の 7 月 8 日安倍元首相が凶弾に倒れるという衝撃的な事件が発生しましたが、まさにその日、板橋区選挙管理委員会にも衝撃が走りました。前日までお元気だった委員長が急逝し、補充員の補充や 2 日後に迫った開票も再点検し変更しなければならませんでした。その際は東京都選挙管理委員会の皆様には色々ご教授頂きましてありがとうございました。

開票は管理職を含め 500 名を超える体制で臨み、午後 8 時 50 分の定刻に開始、選挙区は午前 1 時 7 分に、比例代表は午前 3 時 6 分に終了しました。26 万票を超える開票作業としては 23 区で最速で処理できたものと自負しております。

長い選挙期間中、立候補者の増が見込まれたため設置を始めていたポスター掲示場の板面を増設したり、コロナの感染者数の増加を受け従事者も急遽交代をお願いしたりするなど対応に迫われましたが、投開票とも無事終了することができました。これもひとえに関係各位のご理解・ご協力の賜物です。そして何よりもコロナ禍や猛暑の続く中、貴重な一票を投票していただいた区民の皆様に深謝申し上げます。

ここに「選挙の記録」としてまとめましたので、ご高覧いただければ幸いです。

令和 4 年 11 月

板橋区選挙管理委員会

ポスター掲示場



選挙啓発



期日前投票





当日投票所

